

令和5年4月 月例報告会 報告事項一覧

令和5年4月25日

所管課	報告事項	
総務課・農林水産課・商工観光課	赤碕ふれあい広場・道の駅ポート赤碕リニューアルオープニング式典・イベントについて	・・・ 1
総務課	物価高騰対策！ことうら商品券の配布及び使用状況について	・・・ 3
総務課(選挙管理委員会事務局)	鳥取県知事・鳥取県議会議員一般選挙における投開票結果について	・・・ 4
企画政策課	第4次琴浦町男女共同参画プランについて	・・・ 別冊
	令和4年度第2回地方創生推進会議の開催について	・・・ 5
	企画政策課に係る諸報告について	・・・ 37
すこやか健康課	令和5年度新型コロナウイルスワクチン接種について	・・・ 38
商工観光課	白鳳祭ポロシャツの販売について	・・・ 40
	一向平キャンプ場区画線設置工事の完了について	・・・ 42
上下水道課	下水道審議会の答申について	・・・ 43
	下水汚泥資源の肥料利用を促進するための大規模案件形成支援事業の事業採択について	・・・ 46
社会教育課	ねんりんピックとっとり大会について	・・・ 47
	前田祐也さんレスリングアジア選手権大会入賞	・・・ 50
農業委員会事務局	琴浦町農業委員・農地利用最適化推進委員候補者の推薦及び応募状況について	・・・ 51

4月28日(金)

道の駅ポート赤碕 リニューアルオープン!

広報ことうら5月号
記事予定(未定稿)

この度、道の駅ポート赤碕内の「ふれあい広場」「通路」「赤碕町漁協直売センター」がリニューアルしました!



1 ふれあい広場

高さ10mから滑り降りるローラースライダーのほか、誰もが楽しめるインクルーシブ遊具も設置しました。



↑加登脇建設(株)、トーハク解体(有)から寄贈いただきました!

2 通路

まるで海の中!!

利用者のさらなる利便を図るため、既存トイレへの最短アクセス誘導、休憩スペース整備を行いました。また、子供がワクワクするようまるで海の中にいるようなデザインの通路にしました。



3 赤碕町漁協直売センター

漁協 お食事処「あかさき亭」4月28日オープン



ポート赤碕「赤碕町漁協直売センター」内の一角に海鮮食堂をオープンします。赤碕港で水揚げされた新鮮な地魚を使用した、海鮮丼、定食やテイクアウトのサザエご飯など地元食材の良さをいかした料理を提供します。



贅沢!海鮮丼!
ぜひご賞味ください!

※写真やメニュー名はイメージです。

★えびフライの定食など
新メニュー盛り沢山!



5月3日(水・祝)
～7日(日)
10:00～15:00

道の駅ポート赤碕 リニューアルオープンイベント!

お得な企画やプレゼントが盛りだくさん

お得な
スタンプラリー
ページ右下を見てね

道の駅ポート赤碕

5/3 (水・祝)	赤碕町漁協 直売センター	<p>「海藻の醤油漬け」プレゼント (先着50名様) ※2,000円以上お買い上げの人</p> <p>「カマスのカツ」プレゼント (先着50名様) ※12:00から</p>
5/4 (木・祝)	JA鳥取中央 あぐりポート琴浦	<p>「花壇苗」プレゼント (先着50名様) ※1,000円以上お買い上げの人</p> <p>「焼きそば」販売 ※無くなり次第終了</p>
5/5 (金・祝)	鳥取牛骨ラーメン 京ら	<p>「粗品」プレゼント (先着50名様) ※お食事ご利用の人</p>

5/3(水・祝)～
5/5(金・祝)
「お魚フライ」など
屋台販売

※無くなり次第終了

道の駅琴の浦

5/6 (土)	和星水産	<p>「粗品」プレゼント ※3,000円以上お買い上げの人</p> <p>「琴浦グランサーモン切り身」100円引き</p>
5/7 (日)	琴浦 うまいもんや	<p>「クロワッサン」 or 「大風呂敷サンド」プレゼント ※お買い物いただいた人限定 ※無くなり次第終了</p> <p>「粗品」プレゼント ※3,000円以上お買い上げの人</p>

道の駅スタンプラリー

道の駅ポート赤碕 ↔ 道の駅琴の浦

イベント期間中、2会場をめぐりプレゼントをゲットしよう!

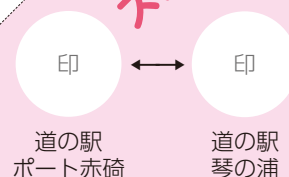
5/3(水・祝)～5/5(金・祝)

内容 3日・5日：アカモク 4日：農産物
引換：赤碕漁協直売センター あぐりポート琴浦
※各日先着50名様

5/6(土)～5/7(日)

内容 粗品
引換：道の駅琴の浦内「琴浦町観光協会」
※各日先着50名様

道の駅
スタンプラリー



物価高騰対策！ことうら商品券の配布及び使用状況について

総務課

1 趣旨

各種エネルギーのほか、食料品や生活用品の物価高騰対策に伴う家計支援として、各世帯へことうら商品券を配布を行ったこと及び現在の使用状況を報告するもの。

2 経過

全町民分のことうら商品券を3月20日より世帯主宛にゆうパックで郵送開始。受け取り後から6月30日まで、ことうら商品券登録加盟店にて使用可能。

3 実施概要

(1) 基準日 3月1日現在の住民基本台帳に登録される全住民
6,444世帯、16,362人

(2) 商品券交付枚数(1枚500円券)

区分	商品券交付枚数	配布額面
世帯分	6,444世帯×6枚(3,000円分) = 38,664枚	19,332,000円
世帯員分	16,362人 ×4枚(2,000円分) = 65,448枚	32,724,000円
合計	104,112枚	52,056,000円

(3) 配達状況

- ・3月20日より配達開始
※県知事・県議会議員選挙期間は入場券や選挙運動用ハガキの配達を優先したため、一時配達を休止
- ・4月8日配達終了
⇒3回目の訪問で不在の場合は、不在票を投函して4月16日まで郵便局保管
- ・4月20日現在での未受領状況

事由	件数(世帯数)	備考
宛て所に尋ねあたりなし	54件	随時総務課へ返却
不在(郵便局保管期限経過)	58件	4月17日に総務課へ返却
合計	112件	

(4) 商品券換金状況(4月14日現在での店舗へ換金状況)

- ・14,218枚(7,109,000円分) 全体の交付枚数の13.7%換金済み

4 今後のスケジュール

- ・4月22日～23日..... 防災行政無線により、不在分の受取を周知
- ・5月、6月..... 防災行政無線、広報ことうらにて不在分の受取、早期使用について周知
- ・6月30日..... 物価高騰対策！ことうら商品券の使用期限

4/9 執行鳥取県知事・鳥取県議会議員一般選挙における投票結果について

総務課

1 趣旨

令和5年4月9日に執行された鳥取県知事・鳥取県議会議員一般選挙の琴浦町における投票結果の報告を行います。

2 経過

当日有権者数 13,681 人、投票者数 8,455 人（知事）、8,448 人（県議）、投票率 61.80%（知事）、61.75%（県議）でした。

3 実施概要

【直近選挙との投票結果比較】

	鳥取県知事 選挙 (R5. 4. 9)	鳥取県知事 選挙 (H31. 4. 7)	第 26 回参議院 議員選挙区 (R4. 7. 10)	町長・町議 会議員選挙 (R4. 1. 23)
当日有権者数	13,681 人	14,553 人	14,046 人	14,066 人
投票者数	8,455 人	9,546 人	8,077 人	9,434 人
うち期日前投票者数	2,814 人	2,623 人	2,781 人	2,789 人
投票率	町	60.80%	65.59%	57.50%
	県	48.85%	53.09%	48.93%

※県議 49.15%

【今回選挙得票結果】

○知事選

党派名	候補者氏名	得票数
日本共産党	福住 ひでゆき	455
無所属	平井 しんじ	7,935

○県議選

党派名	候補者氏名	得票数
無所属	いしまる のりゆき	733
無所属	入江 まこと	394
自由民主党	語堂 正範	3,470
立憲民主党	伊藤 たもつ	3,729

令和4年度第2回地方創生推進会議の結果について

企画政策課

1 概 要

第2期琴浦町まち・ひと・くらし創生戦略及び地方創生推進交付金事業等の進捗状況・内容について、地方創生推進会議を開催し、検証を行いました。

2 内 容

(1) 日程

日時：令和5年3月27日（金）19：00～20：10

場所：本庁舎防災会議室

(2) 会議内容

1. 第2期まち・ひと・くらし創生戦略について
 - ・第2期総合戦略実施状況報告
 - ・令和4年度推進交付金事業実施状況報告
2. 第2期まち・ひと・くらし創生戦略の変更について
 - ・環境分野、文化芸術分野について追記
3. その他
 - ・デジタル田園都市国家構想総合戦略への見直しについて

●主な意見

- ・ふるさと住民票の効果が見えづらい。波及効果はあるはずなので、数字が前面に出てしまうようなKPIは見直しした方がよい。
- ・IJUターン者への住居（アパート、空き家等）提供施策の促進、地元業者がアパートを建てることを支援してはどうか。
- ・スマート農業に高齢農家が取り組むのは難しい。高齢者支援にもなるアシストスーツに重点を置いてもいいのではないか。
- ・道の駅が通過型になってしまっており、周遊に繋げるのが難しい。観光の核とするには方策を考えないといけない。
- ・琴浦は食が強いと感じる。その強みを活かすのがよい。

3 今後の予定

令和5年度に、デジタル田園都市国家構想総合戦略を踏まえた全体的な見直しを行う。

令和2年3月に策定した「第2期琴浦町まち・ひと・くらし創生戦略」に基づき、地方創生の実現に向けて取り組みましたので、その3年目（令和4年度末見込）の成果を報告します。

【総括】

- 第2期総合戦略で掲げた取組みは、引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部取り組みについて遅れが見られるものの、概ね順調に進捗しています。
- 令和4年度は、ウィズコロナ・DX推進の潮流も強まり、またサウナブームなどをうまく活用できたことで、移住定住分野やスマート農業分野で増加傾向にあり、新型コロナウイルスの影響はみられるものの、回復傾向もみえています。
- 今後は、新型コロナウイルスの影響も改善される見込の中で、令和5年度には、デジタル田園都市国家構想戦略を踏まえた、第2期戦略の全体見直しを行うことにより、アフターコロナ・DX推進の強化・取り組みを進めていく必要があります。

(1) 数値目標の達成状況

基本目標	数値目標	単位	基準値(R1)	実績(R4)	目標値(R6)	備考	備考
子育て教育	合計特殊出生率 (R1からR5年までの平均値)	人	1.73 (H29実績)	集計中	1.80		R3: 1.39
健康活力	介護を要する期間 (平均寿命－健康寿命) の短縮 男性0.5年短縮	年	2.1 (R1実績)	2.1	1.6	増加はマイナス評価	増加はマイナス評価
	介護を要する期間 (平均寿命－健康寿命) の短縮 女性0.5年短縮	年	4.4 (R1実績)	4.6	3.9		
経済産業	町内企業就職者数 (R2～R6年の累計)	人	1,135 (H27～R1実績)	607	1,135		
	農林水産業の新規就業者数 (R2～R6年の累計)	人	34 (H27～R1実績)	22	30		
観光交流	観光入込客数	人	683,000 (R1実績)	690,448	900,000		
	観光分野における新規事業等での雇用創出数 (R2～R6年度の累計)	人	—	5	10		
関係定着	人口社会減の人数 (R2～R6年の累計)	人	307人 (H27～R1の累計)	△337	△200		
	IJUターン者数の人数	人	703人 (H26～H30の累計)	集計中	750		R3:265

地方創生推進会議委員

分野別	組織又は団体名	職名	氏名
産	琴浦町商工会	会長	馬野 慎一郎
	琴浦町観光協会	副会長	入江 敏朗
官	鳥取県中部農林局	副局長	丸田 謙一
	琴浦町	副町長	田邊 正博
学	ノートルダム清心女子大学	教授	深谷 信介
	鳥取大学工学部	准教授	長曾我部 まどか
金	山陰合同銀行東伯支店	支店長	山村 靖
労	全日本自治団体労働組合 鳥取県本部	特別執行委員	澤田 陽子
言	新日本海新聞中部本社	総局長	小谷 和之

第2期 琴浦町まち・ひと・暮らし創生戦略

5つのプロジェクトによる持続可能な地域社会の実現



鳥取県琴浦町

令和2年4月

(令和2年3月31日策定)

… 目 次 …

1 基本的な考え方

- (1) はじめに…………… 1
- (2) 第1期琴浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略の成果と課題 …… 1
- (3) 人口推計と基本的な考え方…………… 2
- (4) 策定のプロセス …… 4
- (5) 計画期間…………… 5
- (6) 基本目標の設定と施策の推進・検証…………… 5

2 5つの重点戦略

- (1) 戦略体系図…………… 6
- (2) 各分野の数値目標と具体的取り組み
 - ・ 基本目標【1】 子育て・教育…………… 7
 - ・ 基本目標【2】 健康・活力…………… 12
 - ・ 基本目標【3】 経済・産業…………… 15
 - ・ 基本目標【4】 観光・交流…………… 20
 - ・ 基本目標【5】 関係・定着…………… 23

1 基本的な考え方

(1) はじめに

本町では、ひとの活力がまち全体の元気と希望につながるという理念のもと、平成27年に「第1期琴浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「第1期戦略」という。）」として、令和元年度までの5年間の戦略を策定しました。

第1期戦略では、次世代の琴浦町を担う「ひとづくり」を中心に、誰もが地域社会で活躍できる「しごとづくり」、にぎわいがあり安心して暮らせる「まちづくり」をすすめてきましたが、子育て施策などに一定の成果が見られる一方で、社会移動による人口減少数^{※1}を抑制することはできませんでした。

「第2期琴浦町まち・ひと・くらし創生戦略（以下「第2期戦略」という。）」では、こうした第1期戦略の取り組みを検証した上で、アンケートやワークショップなどにより集めた町民の声を基に、効果的で実効ある取り組みに絞りました。また、自然災害や新たな感染症が相次いで発生するなど社会情勢が著しく変化する今日にあっては、地域が存続して発展していくためには、自律した経済を基盤とした力強いまちと、変化に対応できるしなやかな人材をつくることが重要であるとの考え方を第2期戦略に盛り込み、策定につなげました。

(2) 第1期琴浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略の成果と課題

第1期戦略では、次の4項目を基本テーマとし、重点項目と数値目標を定めて取り組みを行ってきました。

- 1 地域の宝である子どもを産み育てやすいまちづくり
- 2 安定した就労環境の整備と魅力あるしごとづくり
- 3 ふるさとの魅力を誇り、生き生きと輝くひとづくり
- 4 だれもが健康で心豊かに暮らせるまちづくり

それぞれのテーマの数値目標に対する平成30年度までの達成状況は、次表のとおりとなっています。

第1期戦略の4年間の実績から目標達成が可能な項目をみると、「子どもを産み育てやすいまち」、「新たな仕事にチャレンジできるまち」、「元気で暮らすことができるまち」といった特徴が挙げられます。これらは、本町の強みと考えられます。

一方で、人口減少を抑制することは難しく、転出者は増えています。また、観光では、本町には様々な資源があるにも関わらず、観光客数が伸び悩んでいる現状が見られます。

※1) 社会移動による人口減少数

転入者数から転出者数を差し引いた数

[第1期戦略における平成30年度までの数値目標の達成状況]

項目	目標値(R1末)	実績(H30時点)	達成見込
地域の宝である子どもを産み育てやすいまちづくり			
婚活事業による成婚数	15組	4組	
合計特殊出生率 ^{※2}	1.71	1.73	○
安定した就労環境の整備と魅力あるしごとづくり			
農林水産業への新規就業者数	30人	22人	○
起業創業件数	9件	8件	○
ふるさとの魅力を誇り、生き生きと輝くひとづくり			
年間観光入込数	927,000人	676,000人	
だれもが健康で心豊かに暮らせるまちづくり			
社会移動による人口減少数	△200人	△254人	
健康寿命の延伸数値	1.00歳	0.92歳	○

(3) 人口推計と基本的な考え方

国の社会保障・人口問題研究所の推計によると、本町の人口減少は、前回2015年の人口ビジョンより下振れしており、人口減対策が引き続き町の大きな課題です。

この問題に対し、本町では町全体でなく9つの地区ごとの人口ビジョンをつくり、町民が手の届く範囲で自分たちのこととして地区単位でこの課題に向き合い、流出した人口を取り戻す対策「ことうら回帰1%戦略」を行います。

[ことうら回帰1%戦略]

失われた地区の人口と町外に流出している所得のそれぞれ1%を地域内に取り戻すため、「ことうら回帰1%戦略」を各地区で展開します。地区ごとに作成した将来の人口推計データに基づいて、地区住民の皆さんと一緒に地域の課題と対策を考え、実行します。令和元年度は、古布庄地区でワークショップを行いました。引き続き重点地区を設定して、取り組みをすすめます。

第2期戦略では、第1期のような町全体の人口目標は設けないこととしました。日本全体の人口が減少する中、他の自治体と人口の奪い合い競争をするのではなく、人口が減っても皆が幸せになる「持続可能なまち」を創ることが重要と考えるからです。

そのためには、将来の町を担う人材の育成が大きな目標となります。また、観光との連携によって地域外から適度な外貨を取り込むとともに、地域内経済の循環による自律的な発展が不可欠です。また、行政の各分野でも「うまく小さくして質を高める」ことが必要となります。

※2) 合計特殊出生率

一人の女性が一生に産む子どもの数の平均値

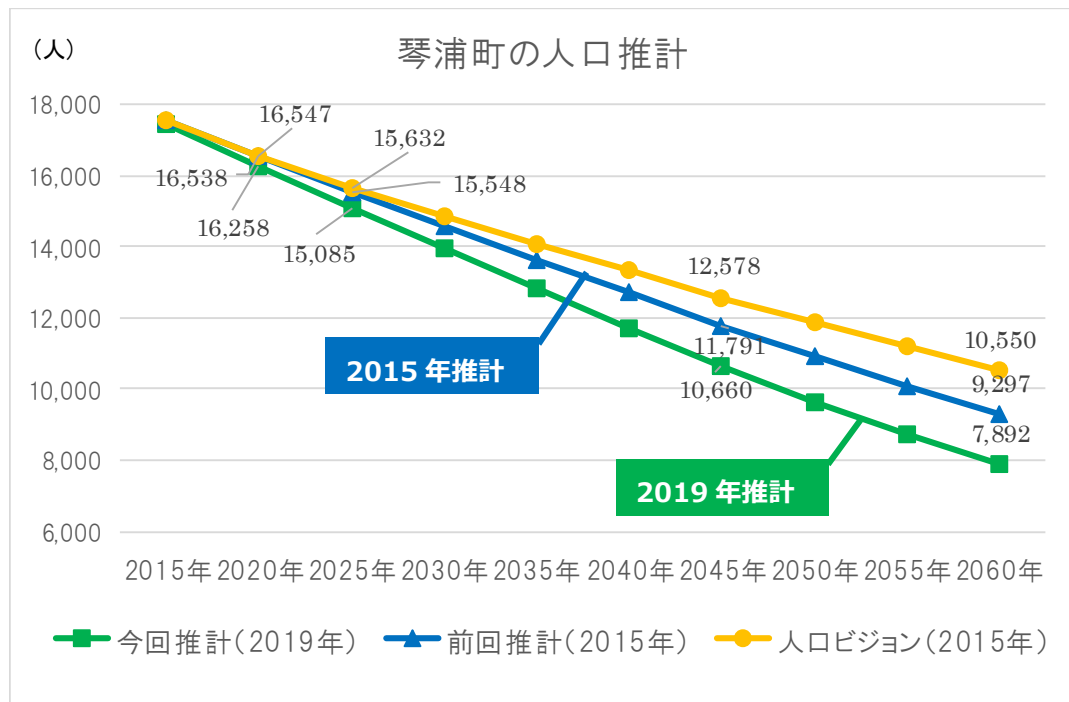
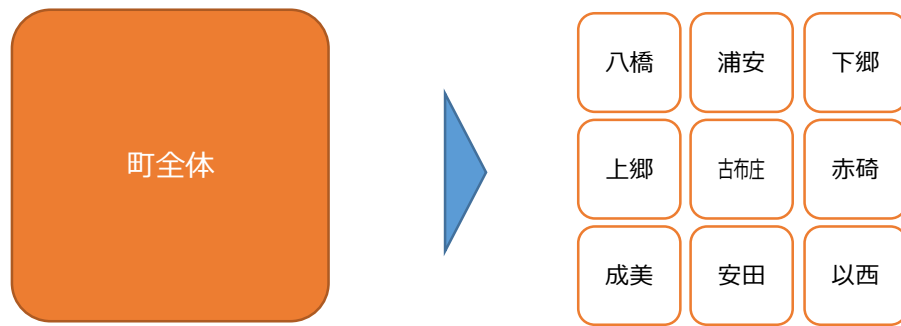
[うまく小さくして質を高める]

本町に 189 ある公共施設やインフラは、今後一斉に更新期を迎えます。施設の複合化や多機能化、民間との連携などをすすめ、施設数は減っても公共施設がこれまで担ってきた機能はできる限り維持し、質を高めていく必要があります。

新しい地方創生戦略では、本町がこれまで取り組んできた特色を活かして5つのプロジェクトに重点を置きます。

町の魅力を向上させ、町民が「住んでよかったと誇れるまち」、「帰って来たいと思えるまち」、「町外からも住んでみたいと思われるまち」を創ることが、最も優れた人口減の対策であると考えます。

【琴浦町では人口減対策について、地区ごとに作成した人口ビジョンを基に展開します】



(4) 策定のプロセス

本町は、町民が「住んでよかったと誇れるまち」、「帰って来たいと思えるまち」、「町外からも住んでみたいと思われるまち」を創ることを目指します。そのためには、観光・経済の充実や行政サービスの向上により、町の魅力を高めることが重要です。そこで、第2期戦略については、第1期戦略の検証結果と町民の意見に基づいて、策定することとしました。

はじめに、第1期戦略の検証結果より本町が今後伸ばしていくべき項目、克服すべき項目として、次の5つの分野を設定しました。

- 1 子育て・教育
- 2 健康・活力
- 3 経済・産業
- 4 観光・交流
- 5 関係・定着

次に、町民の意見を政策に反映させるために、アンケートと住民ワークショップ「ことうら未来カフェ」を実施しました。

アンケートでは、無作為で選んだ町民2,000人に調査票を配布したところ、510人の方から回答があり、これから取り組むべき課題などのご意見をいただきました。

また、アンケートだけでは把握できない意見を聴くために、「ことうら未来カフェ」を開催しました。高校生、大人、町外の方など2日間で延べ140名が参加し、本町の未来について一緒に考え、話し合いを重ねました。これら住民同士の対話から生まれてきた言葉や想いを整理し、具体的な施策につなげました。

このほか、各分野における未来技術（労働生産性や生活の質の向上を図るための情報通信技術、人工知能、ロボットといった新たな技術）の有効活用やSDGsの理念を盛り込み、第2期戦略としました。

[未来カフェの意見]

第2期戦略策定にあたり、「町民と一緒に施策をつくりあげたい」との思いから、令和元年11月16日と24日の2日間にわたり、住民ワークショップ「ことうら未来カフェ」を開催しました。

未来カフェでは10年後の琴浦町の理想の姿を描き、現状の課題と対策について話し合いをしました。そこから生まれてきた言葉を手がかりに、次の5年間で本町が取り組むべき内容について検討し、施策の形にしました。以降では、それぞれの取り組みの基になった又は参考とした意見を、次のように記載しています。

◆未来カフェの意見◆……………それぞれの分野における具体的施策に掲載しています

この欄には、ことうら未来カフェ参加者の意見のうち、具体的な取り組みへとつなげることができた主な意見を記載しています。

[SDGs]

持続可能な開発目標：SDGs(Sustainable Development Goals)とは、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの国際目標であり、持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットから構成されています。

SDGsは誰一人取り残さない社会の実現のために、様々な関係者がそれぞれの分野や立場を超えて、協働して取り組むことを課題解決のアプローチとして考えています。このことは、地域の課題解決を地域全体として自主的に取り組んでいく地方創生の考え方と共通しています。

第2期戦略では、取り組むべき施策がSDGsのどのゴールの達成に寄与しているのかを分かりやすく表示するため、各分野の上段に17のゴールに対応するアイコンを記載しています。なお、17のゴールそれぞれのアイコンは裏表紙に掲載しています。

(5) 計画期間

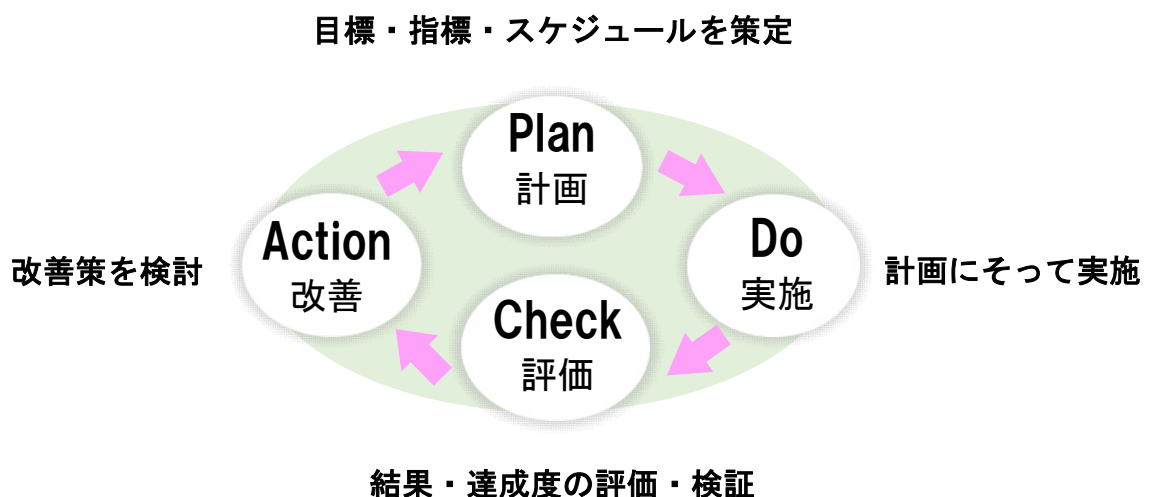
令和2年4月1日から令和7年3月31日までの5年間とします。

(6) 基本目標の設定と施策の推進・検証

本町における5年後の基本目標を定めます。この基本目標は、事業そのものの結果（アウトプット）ではなく、その結果として町民にもたらされた便益（アウトカム）に係る数値目標とし、この基本目標の実現に向けた基本的方向と具体的な施策を記載し、施策の効果を客観的に検証できる指標（KPI;Key Performance Indicator）を定めます。

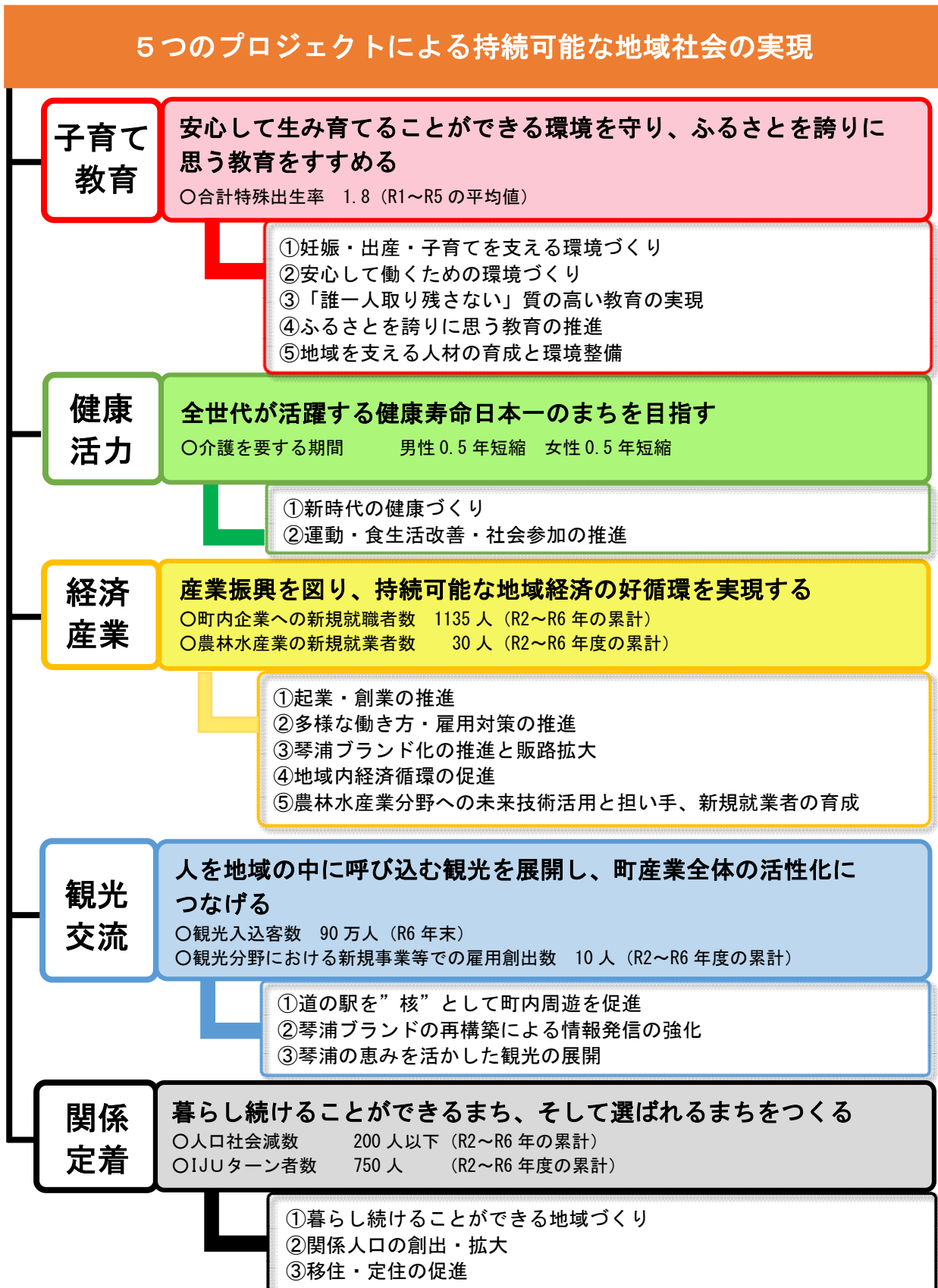
また、町長を本部長とする「琴浦町地方創生推進本部」において、施策の実効的推進を図るとともに、産官学金労言士の有識者で構成された「琴浦町地方創生推進会議」等で取り組み内容を検討し、改善する仕組み（PDCAサイクル）を確立します。

PDCA サイクル



2 5つの重点戦略

(1) 戦略体系図



(2) 基本目標ごとの数値目標と具体的取り組み



<p>基本目標 【1】</p>	<p>【子育て・教育】 安心して生み育てることができる環境を守り、ふるさとを誇りに思う教育をすすめる</p>
<p>本町の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○妊娠・出産、子育てに対する一人ひとりの希望に寄り添う子育て支援の取り組みとして、町独自の保育料第2子以降無償化や第3子以降出産祝い金の交付など多子世帯を全力で応援してきました。また、家庭での子育てを希望する世帯には経済支援を行い、自分らしい子育ての実現を支えています。 ○手厚い保育士配置基準による質の高い保育の提供や子どもの居場所づくりの確保に努め、安心して働くことのできる基盤をつくっています。 ○小・中学校では地域に根ざした教育活動を推進しており、地域の人・自然・社会・産業・歴史・文化等を活用して地域を知る、地域の良さに気づく、地域に暮らす人々の生き方に学ぶ教育活動を行っています。特に、梨の栽培体験、稲作体験、畜産業や養殖漁業の見学、大山乳業の工場見学など一次産業の体験を教育に取り入れています。 ○平成30年には「とっとり琴浦熱中小学校」を中国地方で初めて開校し、大人の学びを通じた地域人材の育成にも力を入れています。
<p>数値目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○合計特殊出生率（R1からR5年までの平均値） 1.80以上 ※基準値 1.73（H29）
<p>基本的方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○手厚い子育て支援と特色ある教育により、「子育てするなら琴浦町、教育ならば琴浦町」と評価され、人が移り住みたくなるまちを目指します。 ○ふるさと教育により、地域に対する誇りを育み、一度は町外に出ても町との関係を持ち続け、いつか琴浦に帰ってくるひとづくりを行います。

《具体的な施策と重点業績評価指標(KPI)》

① 妊娠・出産・子育てを支える環境づくり

- 妊娠から産後までのきめ細やかな支援を充実させ、切れ目のないサポート体制を整備します。
- 子育て世代包括支援センター『すくすく』に母子保健コーディネーターを配置し、妊婦や子育て中の家族の多様な悩みや不安に対する支援を行います。

- 町保健センターを中心に、町内2箇所に設置している子育て支援センターや地区公民館と連携し、妊婦や子育て中の家族が交流できる場を提供します。

重点業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
育児に対する強いストレスや悩みを感じる人の割合	8.2% (R6)	11.8% (H30)
出生数 (R1～R5 までの累計数)	575 人 (R1～R5)	595 人 (H25～H29)

【具体的な事業】

- ・ 特定不妊治療・人工授精に対する助成制度の整備
- ・ 子育て世代包括支援センターによる総合サポート体制の整備
- ・ 産後期における経済支援（乳幼児家庭保育事業、出産祝金）
- ・ 保健センター、地区公民館等における妊婦・産婦の交流拠点の設置

◆未来カフェの意見◆

- ・ 経済的理由で産めない家庭がなくなればいい
- ・ 子育て世帯への訪問 ・ 相談窓口の一元化
- ・ 妊婦さんサークル創設 ・ 交流の場、機会を地域単位でつくる

② 安心して働くための環境づくり

- 保育料などの子育てに関する様々な経済的負担に対する軽減を図ります。
- ファミリーサポートセンターの役割や活動内容を啓発するとともに、子育て支援活動を希望する町民に会員登録を推進します。また、支援の必要な家庭には、会員派遣を行い、安心して働くことのできる環境を整えます。
- 放課後児童クラブの継続実施や地域の人材活用を図るなど、行政・民間・地域が連携しながら家庭以外での子どもの居場所づくりを推進します。

重点業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
この地域で子育てをしていきたい人の割合	74.0% (R6)	68.9% (H30)
ファミリーサポートセンター提供会員登録者の人数	80 人 (R6)	69 人 (R1)

【具体的な事業】

- ・ 保育料、副食費の軽減
- ・ ファミリーサポートセンターの体制強化
- ・ 長期休業期間における児童クラブ事業の実施
- ・ 自治公民館を活用した子どもの居場所づくりの推進

◆未来カフェの意見◆

- ・保育料を安く ・オムツ代無償化などの金銭的な支援
- ・子育てを卒業した人が、他人の子育てを支援するシステム ・定年した人が送迎するシステム
- ・公民館で学童保育 ・地域の中で子どもを育てる

③ 「誰一人取り残さない」質の高い教育の実現

- 誰一人取り残すことのない、個別最適化された学びの実現に向け、学校に ICT（情報通信技術）環境を整備し、デジタル教科書等のデジタル教材を積極的に導入します。
- 国際社会で通用する人材の育成に向け、その基礎となる英語力向上に取り組みます。
- 個人ごとの特性、環境に応じた教育機会の確保に対する支援を行います。
- 進学のための経済的負担に対する支援を行います。
- 学校における業務削減と業務効率化を進め、教員の負担軽減を行うことで教育の質の向上を図ります。

重点業績評価指標（KPI）	目標値	基準値
教員が教科指導で ICT（情報端末、大型提示装置、デジタル教科書）を日常的に活用する割合	100% (R6)	—
実用英語技能検定 3 級レベル (CEFR A1 ^{※3}) の中学 3 年生の割合	70% (R6)	56% (R1)

【具体的な事業】

- ・ 1 人 1 台情報端末の整備
- ・ デジタル教材、教育用システムの導入
- ・ ALT(外国語指導助手)、英語指導支援員の配置
- ・ 実用英語技能検定に対する助成
- ・ 特別教育支援員の配置
- ・ フリースクール^{※4} 授業料助成
- ・ 進学奨励金、通学費助成等による経済負担の軽減
- ・ 学校現場における働き方改革の推進

※3) CEFR A1

外国語の学習者の習得状況を示すガイドラインのことで、A1 は実用英語技能検定 3 級レベル

※4) フリースクール

不登校の子どもに対し、学習活動、教育相談、体験活動を行っている民間施設

◆未来カフェの意見◆

- ・一人一台 PC 整備 ・地域にいながら世界とつながるグローバルな視点をもたせる
- ・個々に沿った教育学習体制 ・教育支援員の充実
- ・不登校の子どもが学習できる環境ができる
- ・高校生の交通費支援 ・大学生への授業料補助
- ・全ての子どもに楽しいと実感できる学校 ・教師が楽しく働ける環境づくり

④ ふるさとを誇りに思う教育の推進

- 地域の自然、歴史、産業、人を教材とし、子どもたちが地域の一員として生まれ育ってきたふるさとを誇りに思うことができる教育に取り組みます。
- 齋尾廃寺跡や河本家住宅などの歴史ある史跡等を後世に残していくとともに、文化・芸術振興を担う人材の育成に取り組みます。

重点業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
1年間に1回以上地域行事に参加している中学生の割合	60.0% (R6)	48.8% (R1)
コミュニティスクール ^{※5} の取り組み校数	町内すべての小・中学校 (R6)	—

【具体的な事業】

- ・コミュニティスクールの立上げによる地域とのつながりを構築
- ・地域人材を講師とする学習の実施
- ・ふるさとを誇りに思う教育の充実
(琴浦こども塾、鳥取中央育英高校との地域探求授業、鳥取大学連携など)
- ・環境学習の実施
- ・町内の歴史、文化、芸術の保全・振興に取り組む人材の育成

◆未来カフェの意見◆

- ・学校や園のやっている授業や活動に地域の意見が取り入れられる仕組み
- ・地域の中で子どもを育て、地域の人と笑顔であいさつができる関係づくり
- ・学校と地域をつなげるコーディネーター ・企業人、地域の人を先生に
- ・学校の授業で子どもがふるさとについて考える時間をつくる
- ・一度町外にでて琴浦に帰ってくるようにふるさとの良さを徹底的に刷り込む

※5) コミュニティスクール

学校だけでなく保護者や地域住民が一緒になって学校運営に関わる仕組み

⑤ 地域を支える人材の育成と環境整備

- ふるさとを支え、地域を引っ張るリーダーをつくるため、町民がトップランナーと関わり、新たな学びに触れる機会を創出します。
- まなびタウン、図書館では幅広い世代がより利用しやすく、気軽に集うことができ、出会いと学びがある町民交流の拠点として施設の整備を図ります。
- 東伯総合公園の管理運営を行い、合宿施設の整備などスポーツ推進拠点として機能向上を図ります。

重点業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
図書館本館の年間利用者数	60,000 人 (R6)	46,000 人 (H30)
東伯総合公園の年間利用者数	60,000 人 (R6)	56,629 人 (H30)

【具体的な事業】

- ・ 未来人材育成塾への中学生派遣事業の実施
- ・ 熱中小学校事業に対する支援
- ・ まなびタウン、図書館の改修整備
- ・ 民間資金を活用した東伯総合公園の再整備

◆未来カフェの意見◆

- ・ トップランナーと関わる機会
- ・ 大人の学びの充実
- ・ 図書館を集いの場に（カフェや談話ができる）
- ・ 屋内で子どもが集う（遊ぶ）場所の整備
- ・ まなびタウンに大きな木育施設
- ・ まなびタウンのリニューアル
- ・ まなびタウンの一角をカフェ、チャレンジショップに開放しては
- ・ 総合公園を芝生のワンダーランドに
- ・ 総合運動公園をもっと使いやすい場所へ



基本目標 【2】	【健康・活力】 全世代が活躍する健康寿命日本一のまちを目指す
本町の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○早期認知症および認知症予備群の発見、対象者への早期介入による認知症予防に早くから取り組んでおり、全国の市町村が視察に訪れる認知症予防先進地として全国的にも有名な町となっています。 ○高齢者の社会参加を促し、いきいきと自活することを目指した高齢者サークルの支援に取り組んでおり、約 100 近いサークルが元気に活動をしています。 ○町内の運動環境を充実させるため、東伯総合体育館トレーニングルームの運動機器の更新、コンディショニングコーディネーターの配置、体幹教室の開催などの取り組みを行っています。親子での教室参加など特に若年層の利用が大きく増えており、幅広い世代で運動習慣の定着につながっています。 ○これらの取り組みが、介護認定率の抑制につながっており、その結果、本町の健康寿命は、男女平均して 4 年間で約 1.2 歳の延伸を図ることができています。
数値目標	<ul style="list-style-type: none"> ○介護を要する期間（平均寿命－健康寿命）の短縮 男性 0.5 年短縮 女性 0.5 年短縮 ※基準値 男性 2.1 年 女性 4.4 年（R1）
基本的方向	<ul style="list-style-type: none"> ○地域や職場、家族を通じて健康増進への働きかけを推進し、年齢や暮らしにあわせた健康づくりを展開します ○高齢になっても、一人ひとりが自らの力で生きがいを持って社会と関わり、心身ともに充実した生活を送ることができるまちを目指します。

《具体的な施策と重点業績評価指標(KPI)》

① 新時代の健康づくり

- 新たな視点と技術を活用して、個々に応じた健康に関するアプローチを展開します。
- 家庭・学校・職場といった地域全体での健康意識の醸成を図ります。

重点業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
健康寿命の数値 (男性)	78.72 歳 (R6)	77.72 歳 (R1)
健康寿命の数値 (女性)	83.87 歳 (R6)	82.87 歳 (R1)
国保特定健診受診率	60.0% (R5)	37.9% (H30)

【具体的な事業】

- ・ AI（人工知能）を活用した自動応答による健康相談の実施
- ・ 健診結果をデータ化に基づく個人に応じた健康増進事業の実施
- ・ 健診受診率の向上の仕組みづくり
- ・ 鳥取県中部歯科医師会との連携による歯科保健事業
- ・ 健康経営の普及促進

◆未来カフェの意見◆

- ・ ICT 活用で健康管理
- ・ 気軽に相談しやすい窓口
- ・ 健康診断をもっと楽しく行きやすく
- ・ 歯の健康を子どもから大人まで
- ・ 従業員の健康に気をを使う

② 運動・食生活改善・社会参加の推進

- どの世代においても気軽に自身の希望に応じた運動ができる環境を整備します。
- 琴浦町が誇る豊かな食文化に健康の視点を取り入れ、町民に提案・発信をします。
- 活力あふれる高齢者層が生きがいを持って社会参加できるよう支援します。
- 健康づくりに体験型・交流型の要素を取り入れ、健康と地域活性を融合させたグリーンヘルスツーリズム^{※6} 事業を推進します。

重点業績評価指標（KPI）	目標値	基準値
運動習慣の定着割合	60.0% (R6)	46.1% (R1)
65歳以上の地域での活動（月1回以上）の参加率	50.0% (R5)	30.4% (H29)

【具体的な事業】

- ・ トレーニングルームの充実（ニーズに対応した運動プログラムの開発）
- ・ 子ども向けのスポーツ教室の実施
- ・ ウォーキング事業の推進
- ・ ヘルシーメニューの開発・提供の実施
- ・ 活力あふれる高齢者層に対する活躍の場の提供
（しごとプラザ琴浦、シルバー人材センター・ボランティア団体との連携）
- ・ 介護予防サークルに対する支援及び参加促進
- ・ グリーンヘルスツーリズム先進地との連携による事業展開の推進

※6) グリーンヘルスツーリズム

グリーン(環境)とヘルス(健康)とツーリズム(観光)を掛け合わせた新しいスタイルの旅行

◆未来カフェの意見◆

- トレーニングルームに専門コースを
- トレーニングルームを子連れでも利用できる仕組みに
- 子ども向けスポーツ教室（ハードルの低い、楽しむ運動）
- 子どもが運動できる施設を
- ウォーキングのまちに
- TCC や町報で手軽に作れるヘルシーメニュー紹介
- 高齢者が働ける仕組みづくり（イメージ・環境）
- シルバーパワーのプロ集団化
- アウトドアフィットネスの展開（自然と健康の癒合）



基本目標 【3】	【経済・産業】 産業振興を図り、持続可能な地域経済の好循環を実現する
本町の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○商工業については、県内町村でトップの生産・出荷高ならびに事業所数を誇っています。中でも生産高が多い産業は食料品であり、全国平均より圧倒的に高く、強みのある分野といえます。 ○平成31年には、地域住民や事業者の利便性向上及び利用者のニーズに対応できるよう「しごとプラザ琴浦」を開所し、各種相談・職業紹介及び事業所支援を行い、雇用拡大に繋げてきました。 ○市町村別農業産出額で県内3位になるなど、農林水産業が盛んなまちでもあり、産地発展のため、規模拡大を希望する事業者や各品目の振興策について支援を行ってきました。特に養殖漁業では、新たな企業を誘致し、「とっとり琴浦グランサーモン」としてブランド化を推進しています。 ○本町の農林水産業を背負う担い手の育成、新規就農者の確保のため、旧以西小学校を農業研修生宿泊施設として整備するとともに、地域おこし協力隊として農業研修生を受け入れるなど拡大に努めています。
数値目標	<ul style="list-style-type: none"> ○町内企業就職者数（R2～R6年の累計） 1,135人 ※基準値 1,135人（H27～R1年の累計） ○農林水産業の新規就業者数（R2～R6年度の累計） 30人 ※基準値 34人（H27～R1年度の累計）
基本的方向	<ul style="list-style-type: none"> ○若者が魅力を感じる多様な就業の場の創出を支援するとともに、琴浦製品のブランド化による競争力を高め、産業の更なる発展を図ります。 ○観光産業での地域外からの外貨獲得と町内での資金循環の両輪で取り組むことで地域経済の自律的な発展につなげます。 ○情報社会における先進技術を積極的に活用し、農林水産業における省力化と生産性の拡大を図るとともに、新規就業者への研修や経済的負担の軽減策を充実させ、持続可能な農林水産業を目指します。

《具体的な施策と重点業績評価指標(KPI)》

① 起業・創業の推進

- 起業・創業を目指す若者の経済的支援など新たな雇用の場の創出に取り組みます。

重点業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
新規起業件数の累計	10 件 (R2～R6)	8 件 (H27～R1)

【具体的な事業】

- ・ 起業・創業に対する助成 (IJU ターン起業支援補助金)
- ・ 空き家等を活用したチャレンジショップ支援

◆未来カフェの意見◆

- ・ 起業を気軽に相談できるところが身近にある
- ・ 店舗開業の手助け ・ お店を開業したい人の把握とセミナーの実施
- ・ 器具のそろったチャレンジショップ ・ ハンドメイドや展示、ワークショップができる地元の人の店
- ・ 空き店舗の有効活用で賑わい創出 ・ 空き家を古民家カフェや民宿にする

② 多様な働き方・雇用対策の推進

- 仕事と生活の選択機会を増やすため、ワーケーション^{※7}、コワーキング^{※8}といった多様な働き方の支援に取り組みます。
- 雇用の確保と生活基盤の安定のため、しごとプラザ琴浦と連携して町内企業への就職を推進します。
- 本町独自の奨学金返済支援制度を通じて、県内での就職・就業を促進するとともに地域で活躍する人材の確保を図ります。

重点業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
ワーケーションのマッチング件数の累計	10 件 (R2～R6)	—
「しごとプラザ琴浦」利用による町民の年間就職者数	270 人 (R6)	221 人 (R1)

【具体的な事業】

- ・ ワーケーション推進事業
- ・ コワーキングスペースの整備

※7) ワーケーション

ワーク（仕事）とバケーション（休暇）を組み合わせた造語。リゾートなどの環境のよい場所で、休暇を兼ねて遠隔で仕事を行う労働形態

※8) コワーキング

事務所、会議室、打ち合わせスペースを共有しながら、それぞれが独立した仕事を行う労働形態

- ・とっとり暮らしワーキングホリデー※9 事業支援
- ・琴浦企業ガイドブック活用の推進・雇用マッチングサイトの活用
- ・IJU ターン者に対する奨学金返済支援制度による町に不足する雇用の充足

◆未来カフェの意見◆

- ・仕事の見学やトライアルがしたい
- ・インターンシップ
- ・外部人材活用
- ・海辺のおしゃれなコワーキング
- ・Wi-Fi 環境を整備して町内で仕事場がしやすく
- ・ワーキングホリデーへの取り組み
- ・しごとプラザ琴浦の充実、活用

③ 琴浦ブランド化の推進と販路拡大

- 高品質を誇る芝、牛乳、和牛、新たな地域ブランドであるとっとり琴浦グランサーモンをはじめとする本町の農畜水産物のブランド化支援により、高い付加価値による競争力の向上と販路拡大に取り組みます。

重点業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
主要品目の年間販売額 (梨、ブロッコリー、ミニトマト、白ネギ、繁殖和牛、酪農、ギンザケ)	49 億円 (R6)	43.8 億円 (H30)
県外商談会でのことうら商品新規契約数の累計	25 件 (R2~R6)	5 件 (R1)

【具体的な事業】

- ・とっとり琴浦グランサーモンフェスタの実施
- ・和牛の増頭支援
- ・養殖漁業拡大に対する支援
- ・企業同士のコラボ商品開発支援
- ・ブランド化、販売促進の取組に対する支援
- ・販路開拓に対する支援

◆未来カフェの意見◆

- ・グランサーモンをブランドとして定着
- ・和牛を全国区に
- ・漁業にもっと力を入れ海資源の拡大 (養魚事業に力を)
- ・大学連携による高付加価値研究の中心に
- ・店舗で売るのは限界がある、インターネットで売る工夫を

※9) とっとり暮らしワーキングホリデー

鳥取県外に住んでいる人が、鳥取の各地域に一定期間滞在し、地域イベントや地域住民との交流を通して、田舎暮らしを体験する取り組み

④ 地域内の経済循環の促進

- 住民への地元商店利用による消費拡大・販売促進に向けた啓発を行い、消費活性化策に取り組みます。
- 「ことうら回帰1%戦略」町外へ資金が流出している部分の特定・分析を行い、地域内で資金が循環する消費の仕組みをつくり、地域経済循環率の向上をすすめます。

重点業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
地域経済循環率 (RESAS ^{※10} 値)	80.0% (R6)	75.4% (H25)

【具体的な事業】

- ・地元での消費・販売拡大運動の推進
- ・地域経済循環調査（事業体調査・家計調査）による分析と対策
- ・エネルギーの地産地消の推進
- ・食の地産地消の推進

◆未来カフェの意見◆

- ・町内で買い物の精神運動をする「Buy Kotoura」 ・琴浦町の企業を紹介するイベント企画
- ・町内経済の把握 ・町内でお金を回す ・余った資源（電気など…）を活用する
- ・地産地消の推進 ・町特産品を中心に食べられる飲食店

⑤ 農林水産業分野への未来技術の活用と担い手、新規就業者の育成

- 農林水産業に AI（人工知能）・ICT（情報通信技術）といった先端技術を導入することで、営農技術の向上、生産量の拡大、作業の負担軽減を図り、新規就業者の確保につなげます。
- 農林水産業の魅力を発信するとともに、研修制度、経済的負担軽減策により、新たな担い手の確保と育成に取り組みます。

重点業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
スマート農業 ^{※11} に新たに取り組む経営体数の累計	5 件 (R2~R6)	—
農業研修生宿泊施設宿泊者数の累計	14 人 (R2~R6)	5 人 (R1)
認定農業者数	170 人 (R6)	178 人 (R1)

※10) RESAS（リーサス）

経済産業省と内閣官房が提供する産業構造や人口動態などの地域経済分析システムのこと

※11) スマート農業

ロボット技術や情報通信技術を活用し、省力化・精密化や高品質生産の実現を推進する新しい農業

【具体的な事業】

- ・スマート農業の推進（通信拠点整備、栽培データを活用した営農等）
- ・農業イメージアップの促進
- ・意欲ある担い手に対する経済支援
- ・農業・漁業における研修制度による担い手確保
- ・退職後の就農者に対する農業研修の実施

◆未来カフェの意見◆

- ・AIを活用した農・漁業体制（3Kでない） ・身体労働をICTによりサポート
- ・儲からないというマイナスイメージばかりある。「農業で儲かる、儲けている」話を取り上げる
- ・農業経費の支援 ・農家-就農希望者→コーディネータ・コンシェルジュという体制づくり
- ・第1次産業を学ぶことによって仕事への関心を深め、働いてみようという意欲を育てる
- ・退職後に農業をしてみたい ・大人が通う農業学校

基本目標 【4】	【観光・交流】 人を地域の中に呼び込む観光を展開し、町産業全体の活性化につなげる
本町の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○「食のるつぼ琴浦」をキーワードに「あご（飛魚）カツカレー」、「牛骨ラーメン」など「食」を中心とした観光振興の充実を図ってきました。 ○近年では新たなスポットとして「鳴り石の浜」が注目され、修学旅行の生徒や外国人も立ち寄るまでの観光地となっています。 ○町内の3施設（光の鋳絵、神崎神社、塩谷定好写真記念館）が「ミシュラン・グリーンガイド※12 山陰 Web 版」への掲載、ご当地サーモン（とっとり琴浦グランサーモン）の誕生、新たな国登録有形文化財に登録された古民家の民泊施設の整備など新たな展開がすすんでいます。 ○平成31年4月には「道の駅琴の浦」に新たなインターチェンジが開通し、観光案内所とともに琴浦観光の玄関口としての機能強化を図っています。
数値目標	<ul style="list-style-type: none"> ○観光入込客数 90万人（R6年実績） ※基準値 68万3千人（R1実績） ○観光分野における新規事業等での雇用創出数 10人（R2～R6年度の累計） ※基準値なし
基本的方向	<ul style="list-style-type: none"> ○稼ぐ観光により、訪問客の観光消費を拡大させ、地域外からの外貨を取り込み、地域内に循環させることで、町産業全体の活性化につなげます。 ○道の駅から他の観光拠点に人を誘導し、周遊・滞在に向けた取り組みを推進することで、観光客を地域に呼び込み、交流人口の拡大を図ります。 ○本町のブランド戦略を練り直し、内外にうち出すことで町民の地域への愛着や誇りを生み出し、琴浦ブランドの認知度の向上を図ります。

《具体的な施策と重点業績評価指標(KPI)》

① 道の駅を“核”として町内周遊を促進

※12) ミシュラン・グリーンガイド

フランスで発売される観光地を紹介するガイドブック（日本版）

- まちの玄関口である「道の駅琴の浦」の観光拠点機能を充実させ、旅行客を町内の誘導・周遊滞在へとつなげるためのプランづくりや移動に対する町内周遊ルート of 環境整備を行います。
- 「道の駅ポート赤碕」を産業振興拠点へと機能分担を行い、地域の元気を創る地域センター型とする道の駅の環境整備を行います。

重点業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
道の駅以外の観光拠点の年間入込客数	156,000 人 (R6)	106,000 人 (R1)
観光案内所の年間入込客数	52,000 人 (R6)	27,000 人 (R1)

【具体的な事業】

- ・道の駅琴の浦、道の駅ポート赤碕の見直し
- ・観光客の人の流れをデータ分析により見える化し、再施策化を実施
- ・サイクリストの受入環境整備

◆未来カフェの意見◆

- ・道の駅にカフェをつくる
- ・2つの道の駅の役割を明確にし、琴浦らしい施設に
- ・道の駅の店舗構成の見直し
- ・町の特産を活かしたお食事処
- ・道の駅から周遊バスを出す。車を置いていろいろな体験めぐりをしてもらう
- ・観光で来た人がどんなルートで来ているか調査
- ・レンタサイクル

② 琴浦ブランドの再構築による情報発信の強化

- 「琴浦町といえば……」のブランドメッセージ^{※13}を新たに作成し、琴浦ブランドの認知拡大につなげます。
- SNS、メディア、観光大使、観光パンフレット等を活用し、全国に琴浦ブランドの情報発信を展開します。
- 近年拡大傾向にある外国人旅行客対策を強化するため、広域圏での観光連携に取り組み、空港、駅から観光拠点までの交通手段確保や Wi-Fi 環境の整備をすすめます。

重点業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
観光ホームページの年間アクセス件数	300,000 件 (R6)	—

【具体的事業】

- ・新たなロゴマークの制作による地域プロモーションの推進
- ・SNS、メディア、観光大使等を活用した観光情報の発信
- ・旬の琴浦 観光パンフレットの制作

※13) ブランドメッセージ

企業などが消費者に伝えたいブランドの「理念」や「ビジョン」

- ・ ミシュラングリーンガイド観光地PR推進
- ・ 観光スポットにおけるWi-Fi整備
- ・ 鳥取県中部・西部圏域との広域観光連携

◆未来カフェの意見◆

- ・ 琴浦といえば〇〇!をつくる
- ・ 情報発信を地域おこし協力隊に「SNS」などで行う
- ・ テレビ等のメディアを活用した広報
- ・ ウィキペディアの琴浦町に関する項目を増やす、充実させる
- ・ 観光ガイドマップの充実
- ・ 観光スポットのWi-Fi整備
- ・ 観光も広域連携 コナン館に行く前、行った後に琴浦スポットへ（食事も）

③ 琴浦の恵みを活かした観光の展開

- 旅行者の町内滞在時間を伸ばし、観光消費を拡大させるため、自然・歴史・文化を活かした体験型観光プログラムの新規開発を行います。
- 自然体験型の観光を推進するため、大山隠岐国立公園内という好立地を活かした一向平キャンプ場を新たな拠点として再整備します。
- 琴浦町に立ち寄ってもらうことを目的に、旬の琴浦グルメを活かした商品の新規開発と磨き上げを行います。

重点業績評価指標（KPI）	目標値	基準値
体験型観光プログラムの新規開発件数の累計	10件(R2～R6)	—
一向平キャンプ場の年間利用件数	842件(R6)	442件(R1)

【具体的な事業】

- ・ 自然を活かした観光イベントの充実
- ・ 体験型観光プログラムの開発
- ・ 古民家を活用した農家民泊の推進
- ・ 斎尾廃寺跡の整備と活用
- ・ 河本家住宅の保全と活用
- ・ 町内の歴史、文化、芸術の保全と活用
- ・ 一向平キャンプ場のリニューアル
- ・ 旬の琴浦グルメを巡るツアーの開催
- ・ 旬の琴浦グルメ開発フードコーディネーター活用

◆未来カフェの意見◆

- ・ 海や山などの自然を活かしたイベント
- ・ 職業体験ツアー（練り物、漁業、乳製品）
- ・ 宿泊+αの民泊
- ・ 空き家をゲストハウスに
- ・ 短期滞在体験ツアー（お試し住宅）
- ・ 斎尾廃寺跡は日本でも重要な文化遺産なのにまったく活かされていないのでどうにかしてほしい
- ・ 一向平でグランピング
- ・ 食と観光がドッキングするような連携型観光
- ・ 季節にあった地元食材を使ったメニュー開発

基本目標 【5】	【関係・定着】 暮らし続けることができるまち、そして選ばれるまちをつくる
本町の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○町内では地域活性化団体が数多く活動しており、このうち 24 団体が連携して、中間組織にあたる琴浦まちづくりネットワークを設立しています。また、小学校の統合を契機に、町内 3 地区で地域協議会が立ち上がるなど、地域の課題を自分たちで解決しようという住民の意識が高まっています。 ○地域の交通に関しては、ドライバー不足により交通事業者が規模縮小する中、平成 31 年には県内初となった運送事業者による地域交通への異業種参入や、町商工会による助け合い交通の取り組みが実施されるなど「まちづくり」に対する町内事業者との連携もすすんでいます。 ○関係人口の基盤となる「ふるさと納税」については、県内 5 位（令和元年 12 月末）の納税額となっており、質の高い農畜水産物を武器に近年、非常に高い伸び率を誇っています。 ○一方、人口については、進学先、就職先の選択肢が都市部と比較して少ないため、特に 10 代後半から 20 代の若者の町外への転出が継続しています。毎年一定数の IJU ターン者があるものの、転出超過を解消することはできていない状況です。
数値目標	<ul style="list-style-type: none"> ○人口社会減の人数（R2～R6 年の累計） 200 人以下 ※基準値 307 人（H27～R1 年の累計） ○IJU ターン者の人数（R2～R6 年度の累計） 750 人 ※基準値 703 人（H26～H30 年度の累計）
基本的方向	<ul style="list-style-type: none"> ○誰もが住み慣れた地域で安心して自分らしい暮らしが実現できるように、地域の特性を活かした主体的なまちづくりを推進します。 ○本町と縁を結び、多様な形で町と継続的に関わる人の創出・拡大に取り組み、まちづくりを担う人材確保と将来的な移住へとつなげます。 ○ライフイベントに合わせた IJU ターンに対する支援を継続しつつ、特に進学・就職で県外に出た若者に対する U ターン施策に積極的に取り組みます。 ○脱炭素（グリーントランスフォーメーション（GX））やごみの減量、リサイクル等を推進することで、住み続けられる環境のまちづくりへとつなげるとともに、SDGs の目標達成を目指します。

《具体的な施策と重点業績評価指標(KPI)》

① 暮らし続けることのできる地域づくり

- 町全体ではなく地区ごとの人口ビジョンをつくり、町民が手の届く範囲で自分たちのこととして、地区単位での人口減少に立ち向かうため、「ことうら回帰1%戦略」（人口の1%と町外に流出している支出の1%を取り戻す）をすすめます。
- 公民館と地域運営組織との連携を強化し、地域における様々な課題を住民が主体的に解決する体制づくりを支援します。
- 免許を持たない人や高齢等により自家用車の運転ができなくなった人でも、日常生活に必要な移動が可能となるよう、現在の公共交通体系の見直しをすすめるとともに、地域内での助け合い交通の仕組みづくりを支援します。

重点業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
地域で新たに課題解決に取り組んだ件数の累計	9件(R2~R6)	—
共助交通に取り組む団体数の累計	3件(R2~R6)	—

【具体的な事業】

- ・各地区での人口ビジョンワークショップの実施
- ・各地区における地域課題解決のための体制づくりの支援
- ・地域づくり事業補助金の整備
- ・公共交通体系の再編
- ・住民ドライバーを活用した地域交通の実証実験
- ・助け合い交通に対する支援

◆未来カフェの意見◆

- ・地域力の復活
- ・公民館は住民が運営できる場に
- ・高齢者のお買い物！自分でショッピングを楽しめるように
- ・100円バスのさらなる工夫、公共交通の改善
- ・困っている人の課題解決のためにできることで集まって動いてみる（車のシェア、みんなで買い物）

② 関係人口の創出・拡大

- ふるさと納税との連携を強化し、関係人口の受け皿となるふるさと住民票^{※14}を発行します。
- ふるさと住民との交流会を通じて外からの意見を政策に取り入れ、町外の住人と町の新たな関わり方を構築します。

※14) ふるさと住民票

まちにゆかりのある人など住民以外の方が、気軽に地域と関われるようにする地域活性化の取り組みで、登録すると広報紙やイベント情報の送付など、一部の住民サービスを受けることができる制度

- ▶ ふるさと納税のリピーター獲得に取り組み、地域外・都市部の住人に本町の製品のファンになってもらい、継続的な関与につなげます。

重点業績評価指標（KPI）	目標値	基準値
ふるさと住民票の登録者数	250人(R2～R6)	—
ふるさと納税額	5.0億円(R6)	3.8億円(R1)
企業版ふるさと納税の企業数	5件(R2～R6)	—

【具体的な事業】

- ・ふるさと住民票
- ・ふるさと住民との県外意見交換会
- ・ワーケーション推進事業（再掲）
- ・ふるさと納税の推進
- ・企業版ふるさと納税の推進

◆未来カフェの意見◆

- ・関西圏との連携
- ・町内の若者と都会の若者をつなげる
- ・特産品を送り、琴浦町をPRしてもらう

③ 移住・定住の促進

- ▶ ホームページや広報紙などを活用した情報発信を積極的に行い、本町のイメージアップや町への関心を喚起することで、移住検討者のIJUターンの意欲を高めます。
- ▶ 相談体制の整備、空き家の活用などIJUターン者への各種支援策を整備します。
- ▶ 本町独自の奨学金返済支援制度を整備し、特に進学・就職で県外に出た若者のUターンを促進します。

重点業績評価指標（KPI）	目標値	基準値
空き家を活用したIJUターン者数	35人(R2～R6)	22人(H26～H30)
IJUターン者に対する奨学金返済支援制度の利用者数の累計	50人(R2～R6)	—

【具体的な事業】

- ・ふるさと住民への情報発信
- ・ふるさと鳥取応援アプリの活用
- ・移住定住アドバイザーの設置
- ・移住定住に関する各種助成制度の整備
- ・空き家ナビの運営
- ・お試し住宅の活用

- ・ IJU ターン者に対する奨学金返済支援制度（再掲）

◆未来カフェの意見◆

- ・ Uターンに向けて、仕事と楽しみの情報発信 ・ やっぱり移住定住、外から人を呼んでくる
- ・ IJU ターンによる起業を支援
- ・ Uターンしやすい環境、集まる地域を作る ・ 空き家のリフォーム支援
- ・ 地元で就職した場合の支援 ・ 大学生への奨学金支援制度（県の上乗せ）

④ SDGs の促進

- 環境をはじめとして、SDGs の 17 のゴールに関する取り組みを推進することで、持続可能な、住みつけられるまちづくりを目指します。
- 再生可能エネルギーの活用など、グリーントランスフォーメーション（GX）^{※15} の推進による脱炭素化社会の実現を目指します。
- 適切なおみの分別と 5R（リデュース・リユース・リサイクル・リフューズ・リペア）、サーキュラーエコノミー^{※16} の推進によりおみの減量・再資源化に繋げる。

重点業績評価指標（KPI）	目標値	基準値
補助金を活用した家庭用太陽光発電設備の導入件数	15 件 (R4～R6)	3 件 (R3)
家庭ごみの排出量	2,904,169kg (R6)	3,057,020kg (R3)

【具体的な事業】

- ・ 再生可能エネルギーの活用
- ・ 軟質プラスチックなどプラスチック類の分別収集・処理体制の整備
- ・ 5R、サーキュラーエコノミー推進によるおみの減量・再資源化体制の整備
- ・ 適切なおみの分別と収集・処理体制の整備
- ・ 森林、河川、海岸等地域環境の保全

※15) グリーントランスフォーメーション（GX）

地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量削減を実現するため、環境に配慮した先端技術を用いて、産業構造を変革する取り組み（カーボンニュートラル・再生可能エネルギー・ZEH・ZEB・EV 等）

※16) サーキュラーエコノミー

これまで消費・廃棄されていた製品や原材料を、資源として活用・循環させるシステム。製造段階からリサイクルしやすい設計にするなど廃棄物を最小限に抑える（出さない）取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの持続可能な世界を実現するための17のゴールから構成された国際目標

1 昭和38年 韓国漁船「成進号」赤碓漂流記 写真展について

【概要】

昭和38(1963)年2月27日、韓国南部・巨済島の漁船「成進号(せいしんごう)」が故障により赤碓沖に漂着。住民による救援によって1か月後に無事帰還。

漂着から60周年となる今年に、当時の記録写真について展示を行う。

【主 催】李歳元(りさいげん) 供養祭実行委員会

【展示場所】本庁舎1階ロビー

【期 間】令和5年5月15日(月)～5月29日(月)

◆主催者は、105年前に赤碓沖で難破した「南昌丸」の乗組員で1人犠牲となった李歳元さんの供養祭を毎年行っている。

2 Instagram フォトコンテスト「#私の惑星コトウラ 2023」について

【概要】

写真や動画をメインに投稿するSNS「Instagram」にて琴浦町内で撮影した写真を募集し「春夏」「秋冬」の2回、フォトコンテストを開催する。抽選で12名(春夏6名+秋冬6名=12名)には琴浦ギフトボックスを贈呈。

【主 催】琴浦町役場 TNGプロジェクトチーム

【期 間】

春夏の部：令和5年5月1日(月)～8月31日(土)

秋冬の部：令和5年10月1日(月)～令和6年1月31日(水)

【応募者の動き】

公式Instagramアカウント「惑星コトウラ(@kotoura_official)」をフォロー。

春夏の場合「#私の惑星コトウラ 2023 春夏」「#撮影場所」

秋冬の場合「#私の惑星コトウラ 2023 秋冬」「#撮影場所」をつけて投稿。

【募集内容】

琴浦町内で撮影された写真(風景や食べもの等、幅広く募集)

令和5年度 新型コロナウイルスワクチン接種について

すこやか健康課

1 接種方針

○令和6年3月31日まで、現行の特例臨時接種を1年間延長

○1～2回目接種を終え、前回接種から3ヵ月を経過した方

時期	対象者		公的関与 (接種勧奨・努力義務)
5～8月 (春夏)	高齢者(65歳以上)	○	○
	基礎疾患を有する者(5～64歳)		
	医療・介護従事者等		×
	上記以外	×	—
9～12月 (秋冬)	5歳以上の全員	○	(高齢者等) ○ (それ以外) ×

2 接種体制

(1) 医療機関での個別接種

接種開始日	医療機関名
5月8日～	中本内科医院、岡田医院、赤碕内科外科クリニック 赤碕診療所、林原医院
5月10日～	吉中胃腸科医院
5月29日～	森本外科・脳神経外科医院

※ せのお小児科内科医院は、小児接種を継続中

※ 中部の接種医療機関は、次ページのとおり

(2) 高齢者施設等での巡回接種

接種日	施設名
5月11日(木)	陽だまりの家とうはく
5月14日(日)	特別養護老人ホームみどり園
5月17日(水)、24日(水)	特別養護老人ホーム百寿苑ほか
5月25日(木)	陽だまりの家ことうら
5月28日(日)	ケアハウスみどり園

3 接種券発送スケジュール

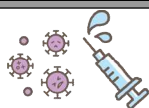
○令和5年度の接種券は白色から水色に変更して発行

前回接種完了	接種可能時期	接種券発送日
～令和5年2月8日	令和5年5月8日～	4月19日(水) 高齢者全体の95%
～令和5年3月1日	令和5年6月1日～	5月中旬
～令和5年4月1日	令和5年7月1日～	6月中旬

町外(中部市町会場一覧)

※ワクチンの種類は、ご予約の際にコールセンターまたはWEBでご確認ください。

琴浦町コールセンターまたはWEBで予約受付



琴浦町コールセンター

電話番号
受付時間

0858-27-1202
9:00~17:00(平日)

【倉吉市】

接種会場	住所
あけしまレディースクリニック	幸町507-18
打吹公園クリニック	仲ノ町770
うなてクリニック	宮川町256-2
大石医院	西倉吉町22-10
大津医院	福吉町1389-5
大山クリニック	丸山町476-3
音田内科	東町435
門脇内科医院	山根586
かほく耳鼻咽喉科クリニック	福庭町2丁目173-3

接種会場	住所
新田内科クリニック	生田360-1
のぐち内科クリニック	上井町1丁目8-5
福嶋整形外科医院	伊木262-2
ふくらクリニック	山根532
松田医院	伊木201-6
宮石クリニック	福庭町1丁目141
みらい内科クリニック	昭和町2丁目233
森脇クリニック	新町3丁目1081-4
山本内科医院	宮川町2丁目76

【北栄町】

接種会場	住所
宮川医院	瀬戸45-2

【湯梨浜町】

接種会場	住所
土井医院	龍島508-1
みはらクリニック	田後222-1
吉田医院	泊750

【三朝町】

接種会場	住所
三朝温泉病院	山田690

各医療機関で予約受付



【倉吉市】

医療機関名	住所	電話	特記事項
安梅医院	関金町大鳥居215-1	45-2554	
垣田病院	上井302-1	48-1525	
北岡病院	明治町1031-5	22-3176	
倉吉シティ内視鏡クリニック	伊木215-3	24-5500	旧: 藤井たけちか内科
倉吉病院	山根43	26-1011	
谷口病院	上井町1丁目13	26-1211	
鳥取県立厚生病院	東昭和町150	22-8181	【対象者】厚生病院医師がかかりつけの方で、厚生病院での接種が必要な方
鳥飼内科	昭和町1丁目62	23-2822	
野島病院	瀬崎町2714-1	22-6231	
藤井政雄記念病院	山根43-1	26-2111	

期間限定予約販売

第30回 白鳳祭

2023.8.6(sun) 開催

記念ポロシャツ

抽選券付

予約受付中



価格▶2,000円
(税込)

素材▶ドライ

サイズ (男女共用) ▶ **SS**、**S**、**M**、**L**、**XL**

◎但し、3・4・5 Lは、2,200円(税込)になります。

ステージイベント

『大抽選会!』【参加方法】

ポロシャツ1枚につき、抽選券が1枚ついています。

当日、**必ず抽選券**をお持ち下さい。

本紙裏面申込書に必要事項をご記入の上、メール・FAX 又は琴浦町商工会(本所)までご持参ください。電話での受付はできませんのでご了承ください。

メール : mail@kotoura-kankou.jp

FAX : 53-0059

第30回白鳳祭 記念ポロシャツ 注文書

※予約販売のみの受付となっておりますのでご了承下さい。

SS~XL 3~5L
1枚 ¥2,000(税込) 1枚 ¥2,200(税込)

注文締切り

5月31日(水)必着

サイズ カラー	SS 枚	S 枚	M 枚	L 枚	XL 枚	3L 枚	4L 枚	5L 枚
青								
赤								
白								
黒								

● 氏 名 (ふ り が な)

● TEL

● 住 所

合計額

円

※受取期間 7月3日(月)~7月14日(金)まで

※受取場所に○印をお願いします。申込後の変更はできませんのでご注意ください。

7月/3~14日(平日)

AM9:00~PM5:00

琴浦町商工会(本所)

7月/1.2.8.9日(土日)

AM10:00~PM12:00 / PM3:00~5:00

琴浦町観光協会

※受取の際はこの注文書(控え)をご持参ください

※ キリトリ ※

注文書(控え)

【受取場所: 商工会 ・ 観光協会】

氏 名

合計額

青	SS	S	M	L	XL	3L	4L	5L	白	SS	S	M	L	XL	3L	4L	5L
赤	SS	S	M	L	XL	3L	4L	5L	黒	SS	S	M	L	XL	3L	4L	5L

琴浦町役場・商工会のHPにある注文表をダウンロードして使用することもできます。

ご不明な点等がありましたら琴浦町商工会(0858-52-2178)にお問い合わせ下さい。

一向平キャンプ場駐車場区画線設置工事の完了について

商工観光課

一向平キャンプ場駐車場区画線設置工事が完了したので報告するもの。

1 概要

工事概要は次のとおり。

項目	内容
趣 旨	一向平キャンプ場や登山等の利用者における駐車場内での交通安全を図るため、薄く見えなくなった区画線を再設置するもの。
場 所	一向平キャンプ場駐車場（琴浦町野井倉地内）
施工業者	株式会社 井木組
支 払 額	429,000円（税込み）
完 了 日	令和5年3月30日（木）

2 施工前後の様子について

着工前



完 成



下水道事業審議会の答申について

上下水道課

1 概要

今後、人口減少による使用料収入の減少、老朽化に伴う改築・更新費用の増加により下水道事業の経営状況は厳しさを増すことが予想されることから、経営改善に向けて広く意見を求めることを目的として、令和4年10月に町長からの諮問を受けて、琴浦町下水道事業審議会を設置し、その諮問に対して答申を行った。

2 経過

- ・令和4年10月 「下水道使用料の適正なあり方について」下水道事業審議会を開催（令和5年3月まで計4回開催）

審議委員 計7名 会長 鳥取短期大学生活学科情報・経営専攻
教授 道前 緑 ほか委員6名

- ・令和5年 4月 町長へ答申

3 答申の概要

- ・一般家庭は世帯員数に応じて算定する人数計算よりも、使用した水量に応じ請求する水量計算へ変更することが望ましい。
- ・町水道を使用していない家庭は、世帯員数に応じた認定水量を適用し下水道使用料を算定する。
- ・今後も適正な使用料について審議会を開催し、検証と見直しを行うこと。
(次の検証と見直し時期は令和8年度)

4 今後の予定

令和5年度内 議会定例会にて下水道使用料に関連した条例改正（案）を提出予定
料金システム改修のため補正予算を要求

議決後 使用者へ料金改定について周知、広報
水量計算への変更に伴う料金システム改修

令和6年度内 新料金での請求開始
令和6年4月請求（令和6年3月使用分）から改定予定

5 審議会資料、議事録

琴浦町 HP にて公開中

URL : <https://www.town.kotoura.tottori.jp/docs/2022120200045>

下水道使用料算定方法、単価の改定について

① 一般家庭（毎月の使用水量を町が把握できる家庭）

〈改定前〉

使用料算定方法	基本料金	1人あたり
人数計算	2,000円/月	500円/月

〈改定後〉

使用料算定方法	基本料金	超過料金
水量計算	10 ^m ³まで一律 2,000円/月	11 ^m ³以降一律 150円/ ^m ³

※金額は消費税抜き

② 一般家庭（毎月の使用水量を町が把握できない家庭）

〈改定前〉

使用料算定方法	基本料金	1人あたり
人数計算	2,000円/月	500円/月

〈改定後〉

使用料算定方法	基本料金	世帯員数	認定水量	超過料金
水量計算 (認定水量)	10 ^m ³まで一律 2,000円/月	0人	8 ^m ³/人・月	11 ^m ³以降一律 150円/ ^m ³
		1人		
		2人		
		3人	7 ^m ³/人・月	
		4人		
		5人	6 ^m ³/人・月	
		6人		
		7人以上	5 ^m ³/人・月	

※金額は消費税抜き

③ 事業所

〈改定前〉

使用料算定方法	基本料金	超過料金
水量計算	10 ^m ³まで一律 2,000円/月	11 ^m ³以降一律 150円/ ^m ³

〈改定後〉

使用料算定方法	基本料金	超過料金
変更なし	変更なし	変更なし

※金額は消費税抜き

審議会開催状況

	開催日・場所	会議内容
第1回	令和4年10月21日（金） 役場本庁舎 2階 防災会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会長、副会長の選出 ・ 町長諮問 ・ 下水道事業の概要説明 ・ 使用料改定の方向性について
第2回	令和4年11月25日（金） 役場分庁舎 3階 第2、第3会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財政計画の見通しについて ・ 使用料対象経費について ・ 利用者群の区分について ・ 使用料体系の検討、協議
第3回	令和5年2月27日（月） 役場分庁舎 3階 第2、第3会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財政計画、使用料対象経費の精査 ・ 使用料体系、単価、認定水量の決定 ・ 答申案協議
第4回	令和5年3月30日（木） 役場本庁舎 2階 第1会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 答申案協議

「下水汚泥資源の肥料利用を促進するための大規模案件形成支援事業」の事業採択について

上下水道課

国土交通省所管の標記事業に琴浦町が選定されたことについて報告するもの。

1 概要

- (1) 農林水産省と国土交通省では、下水汚泥資源の肥料利用の拡大に向けた推進策を関係機関が連携して検討、議論を進めてきた。
- (2) 今後、肥料の国産化と安定的な供給、資源循環型社会の構築を目指し、農林水産省、国土交通省、農業分野、下水道分野が連携し、下水汚泥資源の肥料利用の拡大に向けて取り組むこととしている。
- (3) 国土交通省では、下水道における具体的な案件形成を加速するため、下水汚泥の肥料利用の拡大や新たな取組を検討する下水道管理者に対して、
 - ①汚泥中の重金属と肥料成分等の分析支援事業
 - ②汚泥肥料の流通経路の確保に向けた地域内勉強会の開催等の案件形成支援事業の公募が行われ、①汚泥中の重金属と肥料成分等の分析支援に琴浦町が選定された。
(全国で60自治体が選定。県内では米子市と琴浦町が選定された。)

2 事業内容

(1) 重金属・肥料成分の分析支援

国土交通省の実施する調査業務を通じて、重金属・肥料成分等の分析が行われる。
下水道管理者に対しては、後日分析結果を送付するとともに、肥料としての適否等に関する助言が行われる。

(2) 実施時期・方法

令和5年4月～令和6年1月頃を目途に、季節ごとに計4回の重金属分析を実施。
下水道管理者は、国土交通省が別途委託する調査業務の受託者に下水汚泥を提供。
(運搬に係る費用は国土交通省にて負担)

(3) 分析項目

重金属：カドミウム、鉛、クロム、砒素、水銀、ニッケルを想定。
肥料成分：窒素全量、りん酸全量、加里全量等を想定。

3 今後の予定

調査結果を踏まえて、関係課や関係機関と連携して、下水汚泥の堆肥化にむけた検討を行う予定。

ねんりんピックはばたけ鳥取 2024（第 36 回全国健康福祉祭とっとり大会）
の開催について

社会教育課

1. 大会概要について

「ねんりんピック」は、60 歳以上の方をはじめ、すべての世代の方が楽しむことのできる、スポーツ、文化、健康と福祉の総合的な祭典で、「咲かせよう 砂丘に長寿と 笑みの花」をテーマに、鳥取県で初めて開催されます。

大会をきっかけとして、町民にとっても生きがいを持って心身共に元気で居続けられる、健康寿命・生涯現役につながる活動の促進を図ります。

開催日：R6 年 10 月 19 日（土）～22 日（火）

1 日目：開会式（鳥取市）、監督会議（各競技ごと）

2 日～3 日目：各会場で開始式、競技運営

4 日目：準決勝、決勝戦、閉会式・表彰式（種目ごと）

主催：厚生労働省、鳥取県、一財）長寿社会開発センター

共催：スポーツ庁

競技運営：各市町で種目ごとに会場運営

2. 琴浦町の実施内容

種目：ソフトボール（米子市、南部町、大山町、琴浦町の 1 市 3 町で実施、琴浦町が幹事町）

会場：東伯総合公園 野球場、多目的広場（競技）

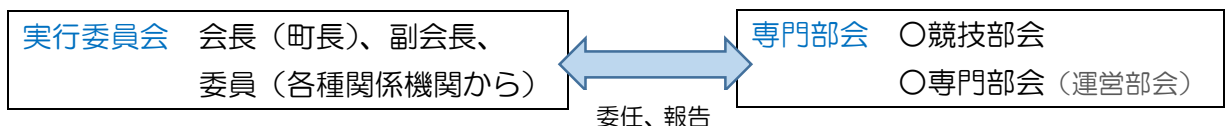
実施内容：

○事業について

必須事業	任意事業
①スポーツ・文化交流大会 監督会議、開始式、競技実施、表彰式等	①市町村独自イベント（地域の特色を出したおもてなしイベント） 歓迎イベント、地元特産品の紹介・販売、観光物産 PR、郷土料理試食 など
②健康づくり教室 体力測定・健康測定、健康づくりの指導、ニュースポーツ指導、健康づくりの推進に関する啓発 など	②リハーサル大会 ソフトボールでは実施しない

○運営について

- ・市町村実行委員会を組織し、実施



全国から多くの来場を見込み、国・県からの財政支援あり →※町の PR の機会と位置づけて、各分野の担当課長による運営部会を組織し、内容・体制等を検討。

総合開会式



日時 令和6年10月19日(土)
会場 鳥取県立布勢総合運動公園
(ヤマタススポーツパーク)

イベント



ふれあいニュースポーツ



美術展



音楽文化祭



ふれあい広場



健康づくり教室



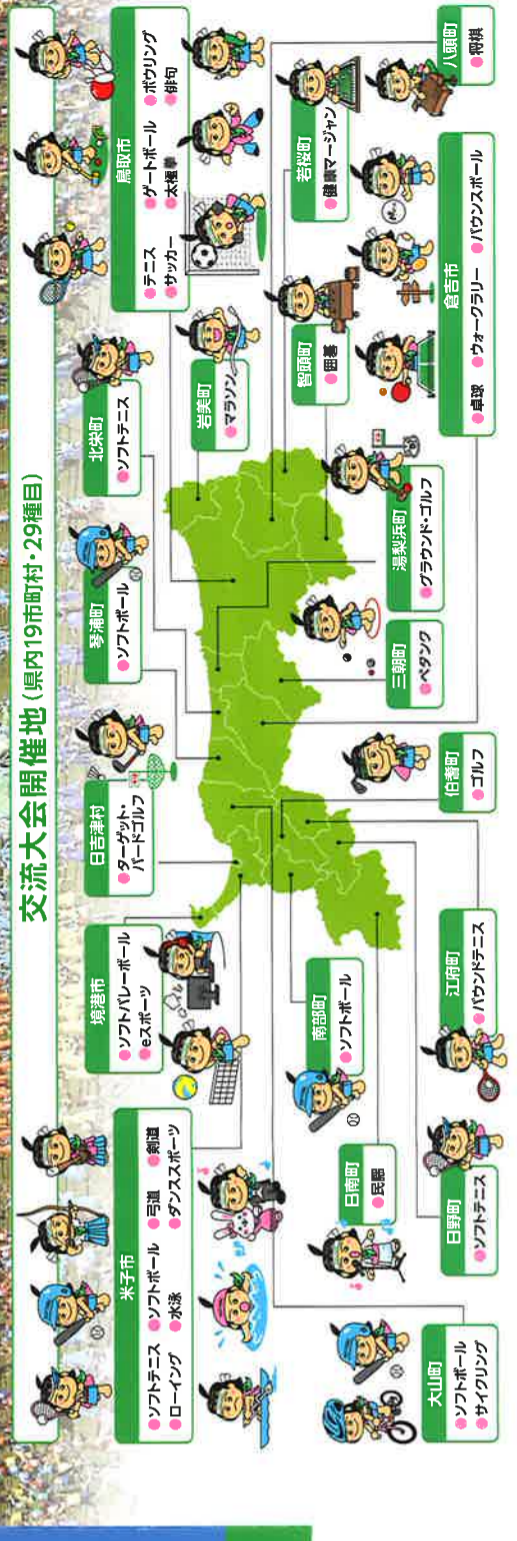
健康福祉機器展

総合閉会式



日時 令和6年10月22日(火)
会場 鳥取県立県民文化会館
(とりぎん文化会館)

みんなであつくりよう
笑顔あふれる4日間
第36回全国健康福祉祭とっとり大会
ねんりんピック
はばたけ鳥取2024
咲かせよう 砂丘に長寿と 笑みの花
令和6年10月19日(土)～22日(火)



交流大会開催地(県内19市町村・29種目)

その他にも様々なイベントを開催します!ぜひご参加ください! *写真は令和5年 和歌山大会時及び令和4年 神戸川大会のもの

お問い合わせ | ねんりんピックはばたけ鳥取2024実行委員会事務局 TEL.0857-26-7908 FAX.0857-26-8741
(鳥取県地域づくり推進部スポーツ振興局ねんりんピック・関西ワールドマスタースターズゲームズ推進課内)

主催 | 厚生労働省・鳥取県・(一財)長寿社会開発センター
共催 | スポーツ庁

ねんりんピック 鳥取
nenrin-tottori2024.jp

ねんりんピックって?

「ねんりんピック」の愛称で親しまれている「全国健康福祉祭」は、60歳以上の方をはじめ、すべての世代の方が楽しむことのできる、スポーツ、文化、健康と福祉の総合的な祭典です。令和6年10月19日(土)から4日間、「咲かせよう 砂丘に長寿と 笑みの花」をテーマに、鳥取県で初めて開催されます。

交流大会開催種目一覧 県内全19市町村を会場に、スポーツや文化に関する全29種目を開催

ふれあいスポーツ交流大会(13種目)

● **ローイング** 開催地 米子市

● **水泳** 開催地 米子市

● **グラウンドゴルフ** 開催地 湯梨浜町

● **ボウリング** 開催地 鳥取市

● **サッカー** 開催地 鳥取市

● **ソフトバレー** 開催地 境港市

● **ウォークラリー** 開催地 倉吉市

● **太極拳** 開催地 鳥取市

● **ターゲット・パードゴルフ** 開催地 日吉津村

● **バウンドテニス** 開催地 江府町

● **ダンススポーツ** 開催地 米子市

● **サイクリング** 開催地 大山町

● **バウンズボール** 開催地 倉吉市

● **ウォークラリー** 開催地 倉吉市

スポーツ交流大会(10種目)

● **卓球** 開催地 倉吉市

● **テニス** 開催地 鳥取市

● **ソフトテニス** 開催地 米子市、北栄町、日野町

● **ソフトボール** 開催地 米子市、琴浦町、大山町、南部町

● **ゲートボール** 開催地 鳥取市

● **ペタンク** 開催地 三朝町

● **ゴルフ** 開催地 伯耆町

● **マラソン** 開催地 岩美町

● **剣道** 開催地 米子市

● **弓道** 開催地 米子市

文化交流大会(6種目)

● **囲碁** 開催地 智頭町

● **将棋** 開催地 八頭町

● **俳句** 開催地 鳥取市

● **民謡** 開催地 日南町

● **健康マージャン** 開催地 若桜町

● **eスポーツ** 開催地 境港市

レスリングアジア選手権大会 3位入賞について

社会教育課

1 前田祐也さん 3位入賞

レスリングのアジア選手権が4月10日、カザフスタンのアスアナで行われ、前田祐也さん（向原出身）が男子グレコローマンスタイル82キロ級に出場し、3位入賞を果たされました。

前田さんは現在、県立鳥取中央育英高等学校職員として従事する傍ら、研鑽を積み重ね、見事入賞されました。（詳細は日本海新聞記事参照）

今後の国際大会でも活躍が期待されます。

2 今後の対応

- ・「琴浦町スポーツ国際大会出場奨励金交付規則」に基づき、奨励金を交付
- ・町広報、HPなどにより発信

日本海新聞

4月12日（水）掲載

前田 県協会 3位 **グレコ 82キロ級**

**「やれることを
すべてやれた」**

レスリングアジア選手権

は3位だった。
準決勝に進出した前田は昨年2位のディアス・カレン（カザフスタン）に敗れたが、3位決定戦で同3位のムハマドコディル・ラスロフ（ウズベキスタン）と対戦。第1ヒリオドで巧みなディフェンスからポイントを挙げる。第2ヒリオドは積極的に攻めて3-1で下した。

4年ぶり出場の国際大会に前田は「緊張もせず、やれることをすべてやれた。とにかく下がらず戦えた」と明るく振り返った。県職員として鳥取育英高で事務業務に従事する。3月の知事表敬でメダル獲得を誓った上で成果を出して「いつも仕事の仲間を支えられている。早く鳥取に帰って報告したい」と声を弾ませた。

（椎葉直）

レスリングのアジア選手権は10日、カザフスタンのアスアナで行われ、鳥取県勢は男子グレコローマンスタイル82キロ級の前田祐也（県協会）が3位入り、国際大会では2017年スペイン・グラナダの3位以来となるメダルを獲得した。67キロ級の曾我部京太郎（日体大）が準優勝に輝き、60キロ級の河名真輝（自衛隊）、97キロ級の奈良勇太（警視庁）

(C) The Shin Nihonkai Shimbun Co., Ltd

1 募集期間及び募集人数

- (1) 募集期間 令和5年3月14日(火)から4月13日(木)まで
- (2) 募集人数
 - ア 農業委員 13人
 - イ 農地利用最適化推進委員 12人

2 推薦・応募状況(令和5年4月13日現在)

- (1) 農業委員(要件：中立委員1名以上)

	定数	応募総数(内・推薦による者)
中立委員以外		13人(2人)
中立委員(利害関係のない者)		1人
合計	13人	14人(2人)

- (2) 農地利用最適化推進委員(要件：各地区の定数を満たすこと)

区域(地区名)	定数	応募総数(内・推薦による者)
第1区(八橋)	2人	2人
第2区(浦安)	2人	2人
第3区(下郷)	2人	3人
第4区(上郷)	1人	1人
第5区(古布庄)	1人	1人(1人)
第6区(赤碕)	1人	2人(1人)
第7区(成美)	1人	1人
第8区(安田)	1人	1人
第9区(以西)	1人	1人
合計	12人	14人(2人)

3 今後の予定等

- ・ 5月1日 農業委員候補者評価委員会の開催
- ・ 6月 町議会定例会(農業委員の選任同意について提案)
- ・ 7月20日 農業委員就任式、農地利用最適化推進委員評価委員会の開催
農業委員会総会の開催(農地利用最適化推進委員の選任同意について提案)
- ・ 8月1日 農地利用最適化推進委員委嘱式